

令和6年度 三郷市学校評価システム 本評価:学校関係者評価シート						
評価項目	評価項目	No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.55	3.90	教育目標「たくましい子」「かんがえる子」「すなおな子」の設定は、知・徳・体を総合的に伸ばし「生きる力」あふれる児童の育成に向けて適切である。学校の課題解決や目標達成のために、教職員が力を合わせて児童のために取り組んでいる。
		2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.50		実施した取組の反省を生かして、学年学級経営、校務分掌経営において、授業や行事を計画・実施し、改善を行う姿勢があった。
	特色ある学校づくり	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.50		課題研究「協働的に学び合うことができる児童の育成～語彙力や読む力を高める国語の授業づくりを通して～」の実現のために、国語科教育に重点を置き、研修や授業研究を通して、重点化を図った。
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.35	3.40	学校は、地域の学習材の活用、読書活動、学力向上(国語)を重点化して取り組んだ。地域の方のご支援をもとにした学習の充実を図ったり、国語科教育の研究に力を入れた。
	資質向上	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.70		毎月倫理確立委員会を実施している。教職員が自分事として捉えられるよう、不祥事防止プログラムを活用し進めている。また打ち合わせ等で教職員事故や行政処分を取り上げ不祥事根絶に向けた意識の高揚を図っている。
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.60		教職員のキャリア段階に応じた研修及び本校の課題解決にむけた研修を計画・立案し、研修を進めている。年次研修や校内研修、若手教員研修等で、指導力向上を図っている。
授業等の状況	学力向上	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.30		授業研究会や研修等を通じ、授業改善に積極的に取り組んだ。ICT支援員の協力による研修などを実施し、教員のICTスキルを向上させ、新しい機能を取り入れた授業を実践している。
		8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.35		本校児童の実態を分析し、方策を立てて授業を進めている。タブレットや各種ドリルを効果的に活用し、基礎学力の向上に取り組んでいる。100マス計算大会等、楽しみながら学力をつける工夫をしている。
	授業規律	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.45		三郷市「授業の心得」の共通理解は進んでおり、教職員・児童に浸透している。学年・学級の実態によって、項目を重点化し指導している。
		10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.45	3.90	授業中に児童が安心して発言したり力を発揮したりできるような雰囲気が作られている。個別対応が必要な児童に対して、担任だけでなく管理職、養護教諭、スクールカウンセラー等と連携し組織的な対応にあたっている。
	読書のまち	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.50	3.80	図書委員会の児童による取組やPTAの協力による図書館リニューアルにより、積極的な読書活動が推進されている。また、読書の木や図書館のイベントなどで読書活動を充実させる取組をしている。
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.55	3.80	図書部会、図書委員会を中心に、様々な取組を設定し、児童の興味を高めている。学校応援団や縦割り読み聞かせ(上級生から下級生へ)等で、児童の心を育て読書意欲を喚起している。国語の学習において並行読書も進めている。
	健康・体力	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.35		日頃の指導や栄養教諭・外部講師による授業を積極的に行い、発達段階に応じた食に関する教育を行っている。給食センターでの見学や、企業と連携した「カルピスナックススクール」等の工夫をしている。
		14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.60	3.90	教材研究や環境整備を十分に行い、児童が力いっぱい運動できる授業を実践している。「陸上記録会」や「水泳大会」の行事に向けて児童は熱心に参加した。新体力テストの結果はどの項目も優れた数値を示している。
	道徳の推進	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.35		「考え議論する道徳」を目指し、週に1時間の道徳の授業を大切にしている。道徳の授業公開は学校公開や授業参観において実施し、保護者や地域の皆様と内容を共有を図っている。
		16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.40		「道徳の学級における指導計画」を作成し、教育活動全体を通し計画的に道徳性を育てている。各種行事等の際には機会を逃さず「努力」や「感謝」などの道徳性を育てるために丁寧に指導している。
指導・管理の状況	礼儀正しい児童生徒の育成	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.50		子どもにとって最大の教育環境は教師である。特に「挨拶」「言葉遣い」は教師自らも意識することを課題として、今後も指導を積み重ねていく。
		18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.60	4.00	来校される方から「気持ちよくあいさつする子が多い。」と評価を頂いている。教職員が積極的に児童にあいさつをし、模範を示すことで、児童もあいさつができるようになってきている。
		19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.35		職員室に入る時や、事情や用事を伝える場面で、相手や時と場に応じた言葉や敬語が使えない児童がいることは課題である。話型を提示し、丁寧に指導し指導を続ける。
	生徒指導	20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.65		不登校や問題行動に対しては、関係職員や管理職を中心に対応策を考え組織的に対応している。ケース会議を実施する場合もある。毎月の生徒指導・教育相談委員会においては校務支援システムに記録を残し情報共有している。全職員で不登校や問題行動を見守る体制がとれている。
		21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.50		電話や連絡帳、面談、学級通信等で児童の姿容を伝え、家庭との連携を図っている。状況に応じて、保護者だけでなくスクールカウンセラーや教育相談室等と連携を図り、指導にあたっている。
		22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.90	3.80	児童・保護者からの情報や、毎月の「高州つ子心のアンケート」をもとに、早期発見・早期対応に努めている。管理職、生徒指導主任を中心に組織的に対応をして、児童の小さな変化を見逃さないようにしている。
	安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.45		地震や火災、不審者を想定した避難訓練を実施している。事故、トラブルに対応するための既存のマニュアルを随時見直ししていく必要がある。
		24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.75	4.00	毎月の安全点検を徹底している。管理職・事務職員が情報を共有して、修繕・交換等には即時対応し、安全対策に取り組んでいる。交通安全指導については、帰りの会や一斉下校の機会に繰り返し指導している。
	教育環境	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.35	3.50	老朽化による破損があるが、清掃活動や掲示教育に取り組み、明るい環境を保っている。ゴミの落ちにくい環境づくりや清掃用具の片付けの徹底等をより意識して、環境美化を推進する。
		26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	3.70		業務改善会議の定期的な開催を通して、業務改善策を出している。PTA、学校応援団の協力も得て働き方改革を進めている。教職員の心身の健康の保持し質の高い教育活動を実現するために、今後も働き方改革を推進する。
家庭・地域との連携状況	家庭・地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.60	3.90	学校だより、学級だより、ホームページを充実させ、教育活動や児童の様子が伝わるよう積極的に情報を発信してきた。ホームページの更新回数が課題である。
		28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.70	3.90	保護者・地域の皆様や学校応援団の皆様には、大変お世話になっている。運動会、学校公開等、保護者に公開できる機会には積極的に公開している。「学校応援団」の皆様には学習支援(シンボランティア、小松菜栽培、町探検等)環境整備(側溝清掃、樹木消毒等)など活用を進めることができた。「親の学習」は就学時健診の際に活用し、就学前児童の保護者へ啓蒙を図った。
		29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.55	3.90	読書イベント、カーテン洗濯、図書館リニューアル等、PTAの発案な活動には感謝している。リサイクルデーのキャップ回収では、PTAさんの活動に児童とともに協力している。地域育成会の地域パトロール、地域スタンプラリーにも協力した。今後もPTA活動・地域活動との連携を継続していく。